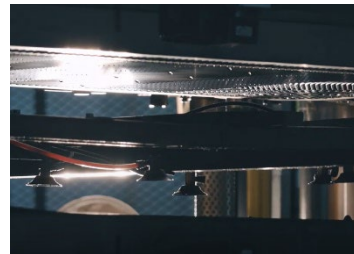


証券コード：6247

いけ、技術に想いをのせて

HISAKA

2024年3月期 決算説明会 資料



2024年5月31日

 株式会社 日阪製作所

目次

■ 会社概要	・ ・ ・	2
■ 2024年3月期 決算の概要	・ ・ ・	4
■ 企業価値向上に向けた取り組み	・ ・ ・	15
■ 2025年3月期 決算の見通し	・ ・ ・	38

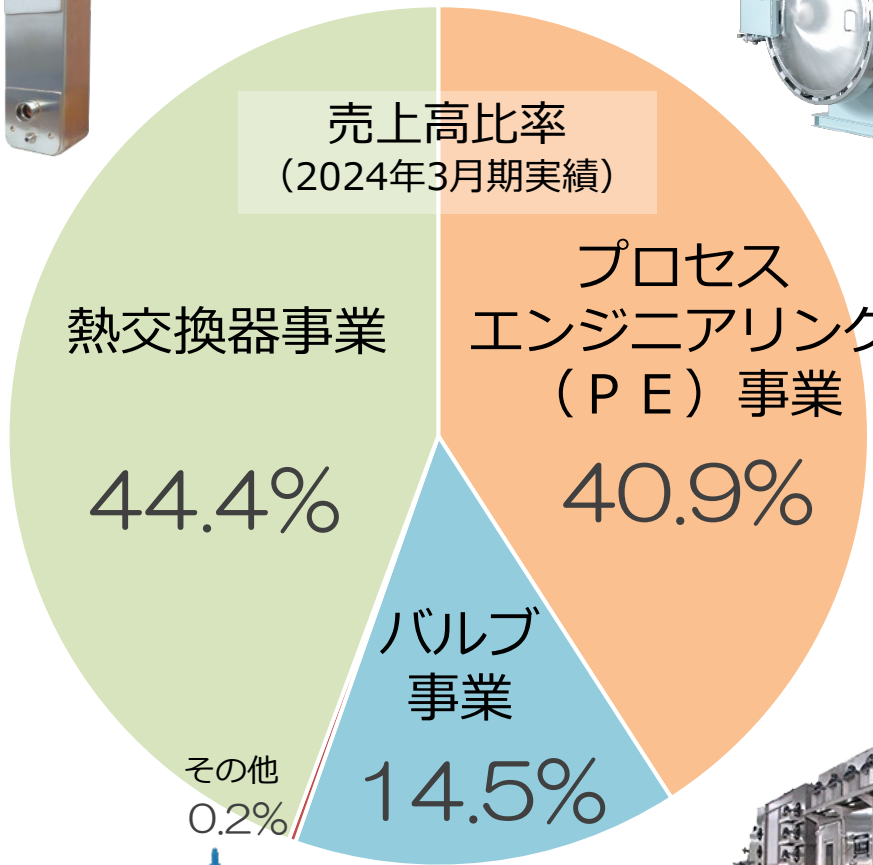
会社概要

社名	株式会社 日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業年月	1942年5月（昭和17年5月）
事業内容	産業機械製造販売業（熱交換器、蒸発・蒸留・凝縮装置、染色仕上機器、食品機器、医薬機器、ボールバルブなど）、発電事業
資本金	41億5千万円
発行済株式総数	32,732,800株
株式上場	東京証券取引所 プライム市場
売上高	341億円（連結／2024年3月期）
従業員数	1,011名（連結）
関係会社数	11社（海外関係会社含む 2024年5月1日現在）
国内拠点	大阪本社、鴻池事業所、青梅事業所、生駒事業所 東京・名古屋・九州・北九州支店、北海道・さいたま・千葉・尾道営業所
海外拠点	マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ、シンガポール、インドネシア、中国、サウジアラビア、UAE、韓国

※2024年3月末現在

日阪グループの事業構成

売上高比率
(2024年3月期実績)



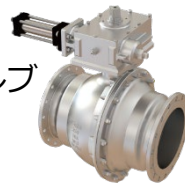
●プレート式熱交換器



●太陽光発電事業
(その他)



●ボールバルブ



●レトルト調理殺菌装置



●連続液体滅菌装置



●液流染色機



●全自動連続殺菌冷却装置
(株日阪プロダクツ)

2024年3月期 決算の概要

1 - ①. 決算の概要 (前期比)

(百万円)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	34,621	—	37,999	—	3,377	9.8%
うち、海外受注高	7,344		8,575		1,230	16.8%
売上高	34,074	—	34,180	—	106	0.3%
うち、海外売上高	6,809		7,377		568	8.3%
営業利益	1,912	5.6%	2,457	7.2%	545	28.5%
経常利益	2,392	7.0%	2,896	8.5%	504	21.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,040	6.0%	2,420	7.1%	379	18.6%

1 - ②. 決算の概要 (計画比)

(百万円)

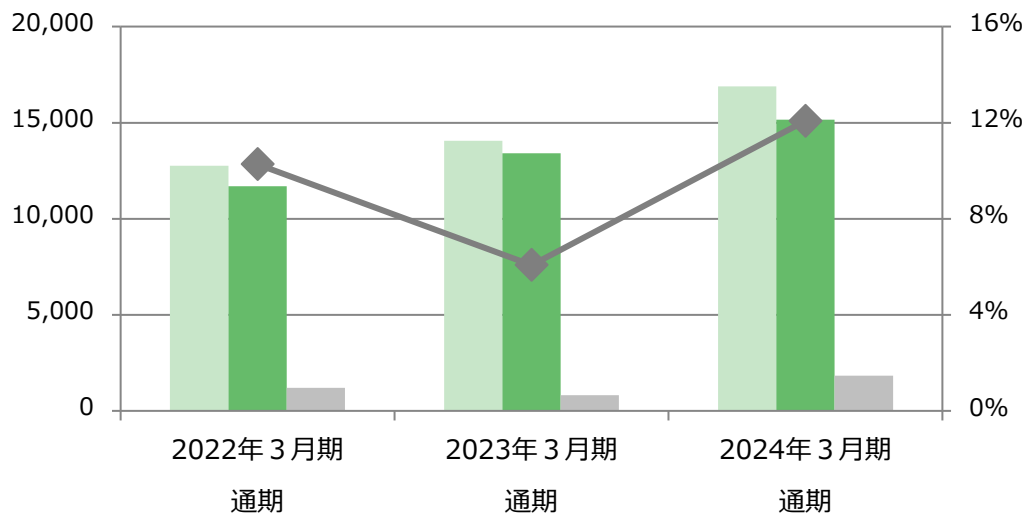
	2024年3月期 通期		2024年3月期 通期			
	修正計画 (2024/2/14公表)	利益率	実績	利益率	計画比 差額	達成率
受注高	38,000	—	37,999	—	▲ 0	100.0%
売上高	33,000	—	34,180	—	1,180	103.6%
営業利益	1,600	4.8%	2,457	7.2%	857	153.6%
経常利益	2,000	6.1%	2,896	8.5%	896	144.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,700	5.2%	2,420	7.1%	720	142.4%

(百万円)

2-①. 熱交換器事業(前期比)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	14,059	—	16,900	—	2,841	20.2%
うち、海外受注高	3,449		5,297		1,847	53.5%
売上高	13,418	—	15,161	—	1,742	13.0%
うち、海外売上高	3,286		4,285		998	30.4%
セグメント利益	814	6.1%	1,831	12.1%	1,016	124.7%

(百万円) 受注高 売上高 セグメント利益 利益率



<受注高>

- 新造船の需要拡大により船舶向けが好調
- エネルギー関連の海外大口プラント案件を受注

<売上高>

- ヒートポンプや半導体向けの中小型汎用品が好調
- メンテナンス関連や船舶向けが好調

<セグメント利益>

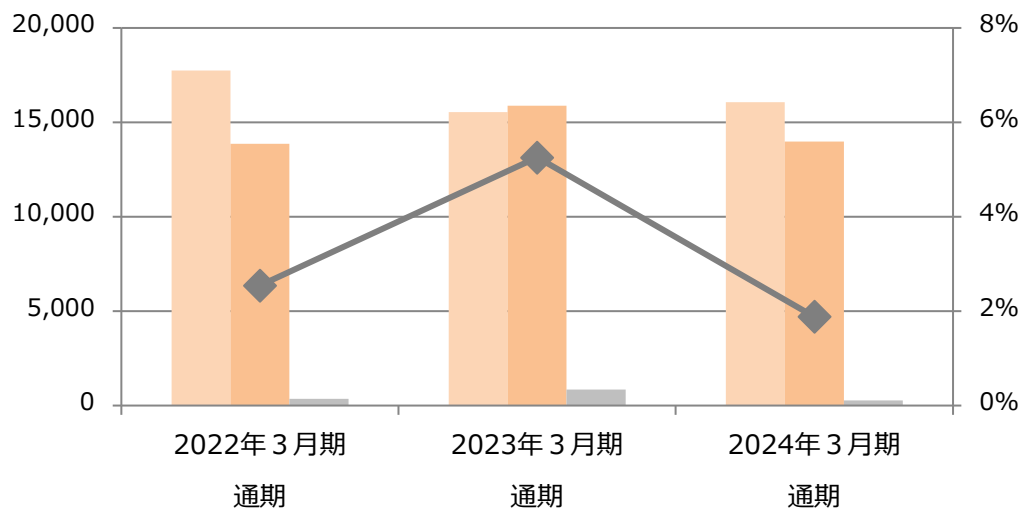
- 売上高の増加
- セールスマックスの改善

(百万円)

2-②. プロセスエンジニアリング事業(前期比)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	15,536	—	16,058	—	521	3.4%
うち、海外受注高	3,015	—	2,386	—	▲ 629	▲ 20.9%
売上高	15,869	—	13,977	—	▲ 1,891	▲ 11.9%
うち、海外売上高	2,700	—	2,317	—	▲ 383	▲ 14.2%
セグメント利益	833	5.3%	263	1.9%	▲ 570	▲ 68.5%

(百万円) 受注高 売上高 セグメント利益 利益率



<受注高>

- 食品機器において大型の殺菌装置、省人化ニーズを受けた自動化装置などの受注が好調
- × 医薬機器、染色仕上機器が低調

<売上高>

- × 前年度の受注減により、医薬機器、染色仕上機器が減少
- 全自動連続殺菌冷却装置が堅調
- 飲料水関連のプラント案件を納入

<セグメント利益>

- × 売上高の減少、事業所開設の費用発生

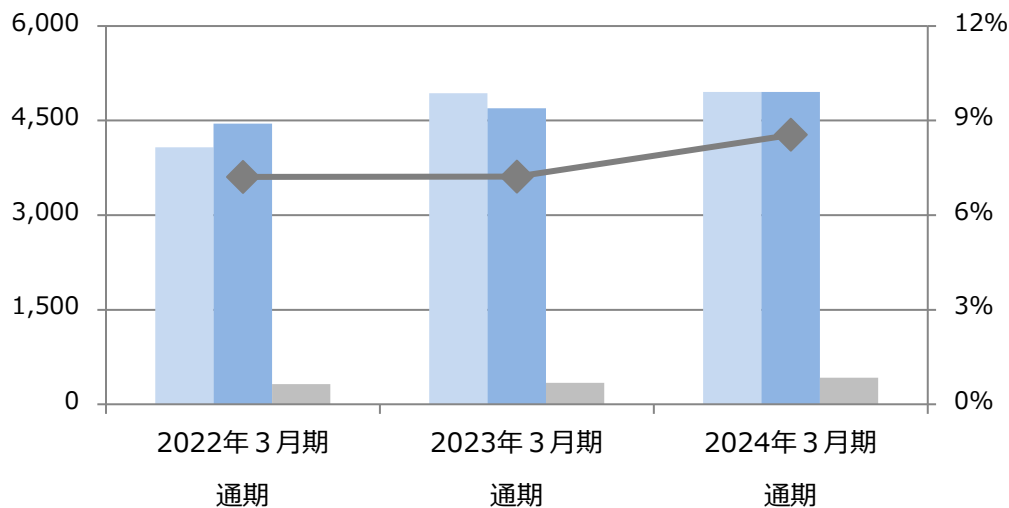
2-③. バルブ事業(前期比)

(百万円)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
受注高	4,934	—	4,953	—	18	0.4%
うち、海外受注高	879		891		12	1.4%
売上高	4,696	—	4,954	—	258	5.5%
うち、海外売上高	822		774		▲ 47	▲ 5.8%
セグメント利益	339	7.2%	423	8.5%	84	24.8%

(百万円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ セグメント利益 ◆ 利益率



<受注高>

- 二次電池や半導体、水素関連設備向けが好調
- × 海外向けが低調

<売上高>

- 化学向けに大口案件を納入
- 二次電池や半導体、水素関連設備向けが好調

<セグメント利益>

- 売上高の増加

3-①. セグメント別の業績（受注高、売上高）

(百万円)

	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	14,059	40.6%	16,900	44.5%	2,841	20.2%
プロセスエンジニアリング事業	15,536	44.9%	16,058	42.3%	521	3.4%
バルブ事業	4,934	14.2%	4,953	13.0%	18	0.4%
その他	90	0.3%	87	0.2%	▲ 3	▲ 4.0%
受注高	34,621	100%	37,999	100%	3,377	9.8%
熱交換器事業	13,418	39.4%	15,161	44.4%	1,742	13.0%
プロセスエンジニアリング事業	15,869	46.6%	13,977	40.9%	▲ 1,891	▲ 11.9%
バルブ事業	4,696	13.8%	4,954	14.5%	258	5.5%
その他	90	0.2%	87	0.2%	▲ 3	▲ 4.0%
売上高	34,074	100%	34,180	100%	106	0.3%

3-②. セグメント別の業績（営業利益、受注残高）

（百万円）

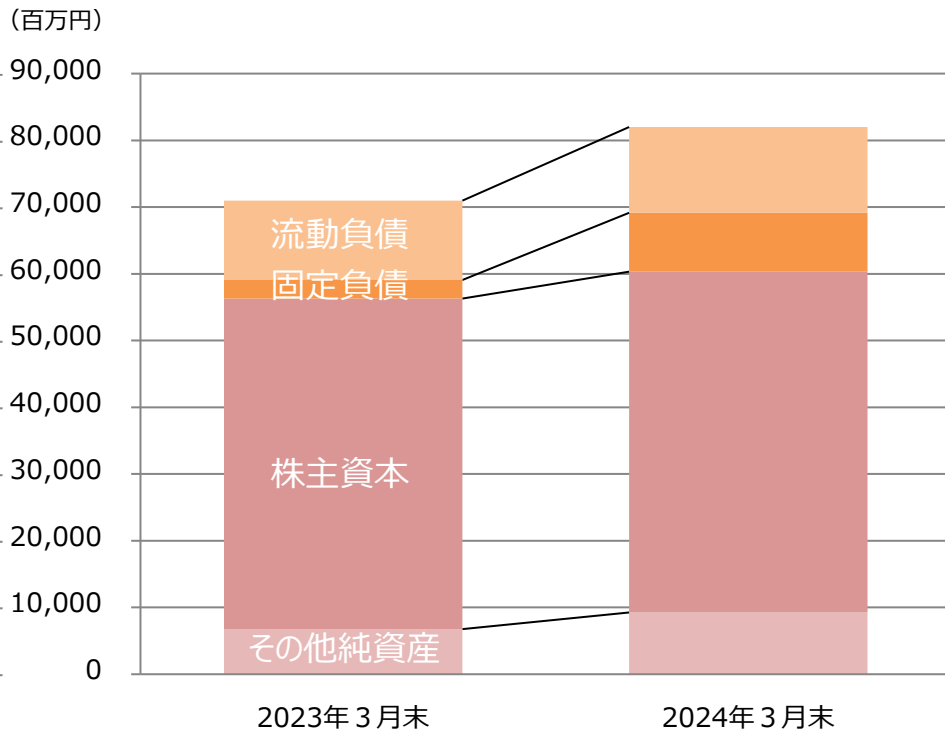
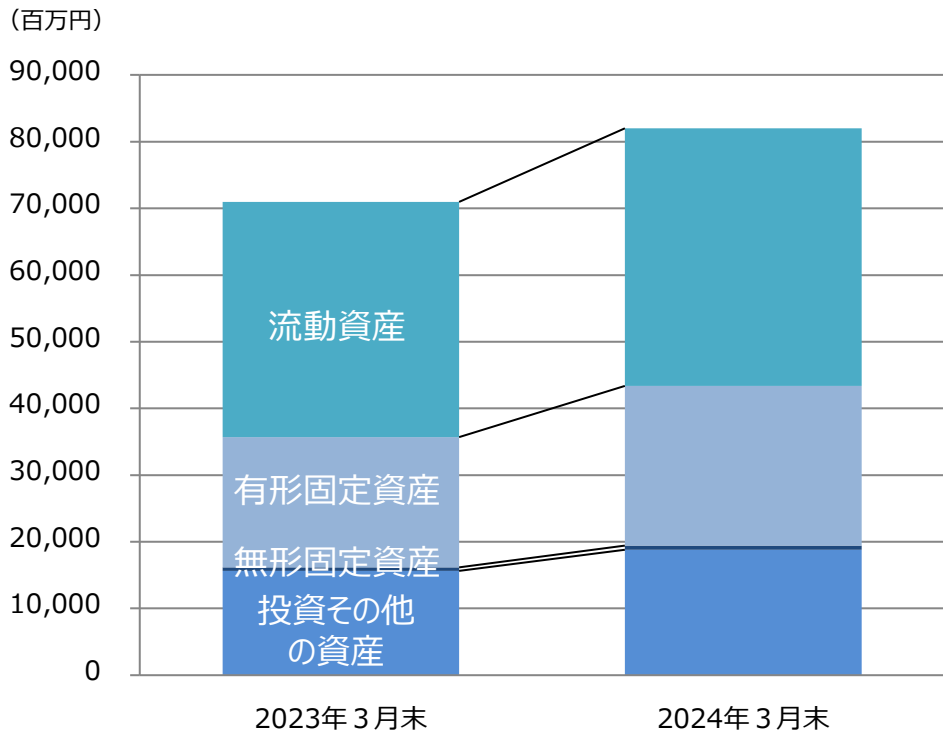
	2023年3月期 通期		2024年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	814	39.6%	1,831	70.9%	1,016	124.7%
プロセスエンジニアリング事業	833	40.6%	263	10.2%	▲ 570	—
バルブ事業	339	16.5%	423	16.4%	84	24.8%
その他	66	3.3%	63	2.5%	▲ 3	▲ 5.6%
小計	2,054	100%	2,580	100%	525	25.6%
調整額	▲ 142	—	▲ 123	—	19	—
営業利益	1,912	—	2,457	—	545	28.5%
熱交換器事業	4,850	25.2%	6,952	29.7%	2,102	43.4%
プロセスエンジニアリング事業	13,059	67.9%	15,140	64.6%	2,080	15.9%
バルブ事業	1,327	6.9%	1,326	5.7%	▲ 1	▲ 0.1%
その他	—	—	—	—	—	—
受注残高	19,237	100%	23,419	100%	4,181	21.7%

3-③. セグメント別の業績 (計画比)

(百万円)

	2024年3月期 通期		2024年3月期 通期			
	修正計画 (2024/2/14公表)	構成比	実績	構成比	計画比 差額	達成率
熱交換器事業	16,500	43.4%	16,900	44.5%	400	102.4%
プロセスエンジニアリング事業	16,300	42.9%	16,058	42.3%	▲ 241	98.5%
バルブ事業	5,100	13.4%	4,953	13.0%	▲ 146	97.1%
その他	100	0.3%	87	0.2%	▲ 12	87.2%
受注高	38,000	100%	37,999	100%	▲ 0	100.0%
熱交換器事業	14,500	43.9%	15,161	44.4%	661	104.6%
プロセスエンジニアリング事業	13,400	40.6%	13,977	40.9%	577	104.3%
バルブ事業	5,000	15.2%	4,954	14.5%	▲ 45	99.1%
その他	100	0.3%	87	0.2%	▲ 12	87.2%
売上高	33,000	100%	34,180	100%	1,180	103.6%
熱交換器事業	1,370	78.7%	1,831	70.9%	461	133.7%
プロセスエンジニアリング事業	▲ 80	▲ 4.5%	263	10.2%	343	—
バルブ事業	390	22.4%	423	16.4%	33	108.6%
その他	60	3.4%	63	2.5%	3	105.4%
小計	1,740	100%	2,580	100%	840	148.3%
調整額	▲ 140	—	▲ 123	—	16	—
営業利益	1,600	—	2,457	—	857	153.6%

4. 資産・負債・純資産の状況



	2023年3月末	2024年3月末	増減額
流動資産	35,274	38,636	3,362
有形固定資産	19,562	23,965	4,402
無形固定資産	512	613	101
投資その他の資産	15,628	18,800	3,172
固定資産合計	35,703	43,380	7,676
資産合計	70,977	82,017	11,039

	2023年3月末	2024年3月末	増減額
流動負債	11,907	12,884	976
固定負債	2,767	8,831	6,063
負債合計	14,675	21,715	7,040
株主資本	49,546	51,061	1,514
その他純資産	6,755	9,240	2,484
純資産合計	56,302	60,301	3,999
負債純資産合計	70,977	82,017	11,039

5. 連結キャッシュ・フローの状況

	2023年3月期 通期	(百万円) 2024年3月期 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,485	▲ 461
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,812	▲ 3,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,001	3,828
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	102
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,270	▲ 351
現金及び現金同等物の期首残高	16,141	13,871
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	227
現金及び現金同等物の期末残高	13,871	13,746

企業価値向上に向けた 取り組み

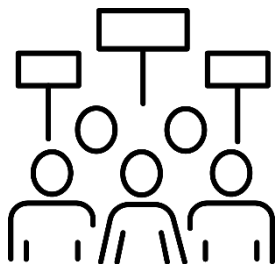
6-①. 成長戦略(長期ビジョン)

長期ビジョン【2043年3月期(創業100周年)】

流体の熱と圧力の制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の明日(あした)を、お客様と共に支える企業になる

価値の源泉

「総合力」を十分に
発揮できる
「組織」、「人材」



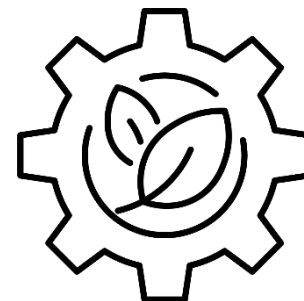
提供価値

「社会課題」を
解決する「総合力」



貢献分野

「社会課題」に
直面する
お客様、業界、市場

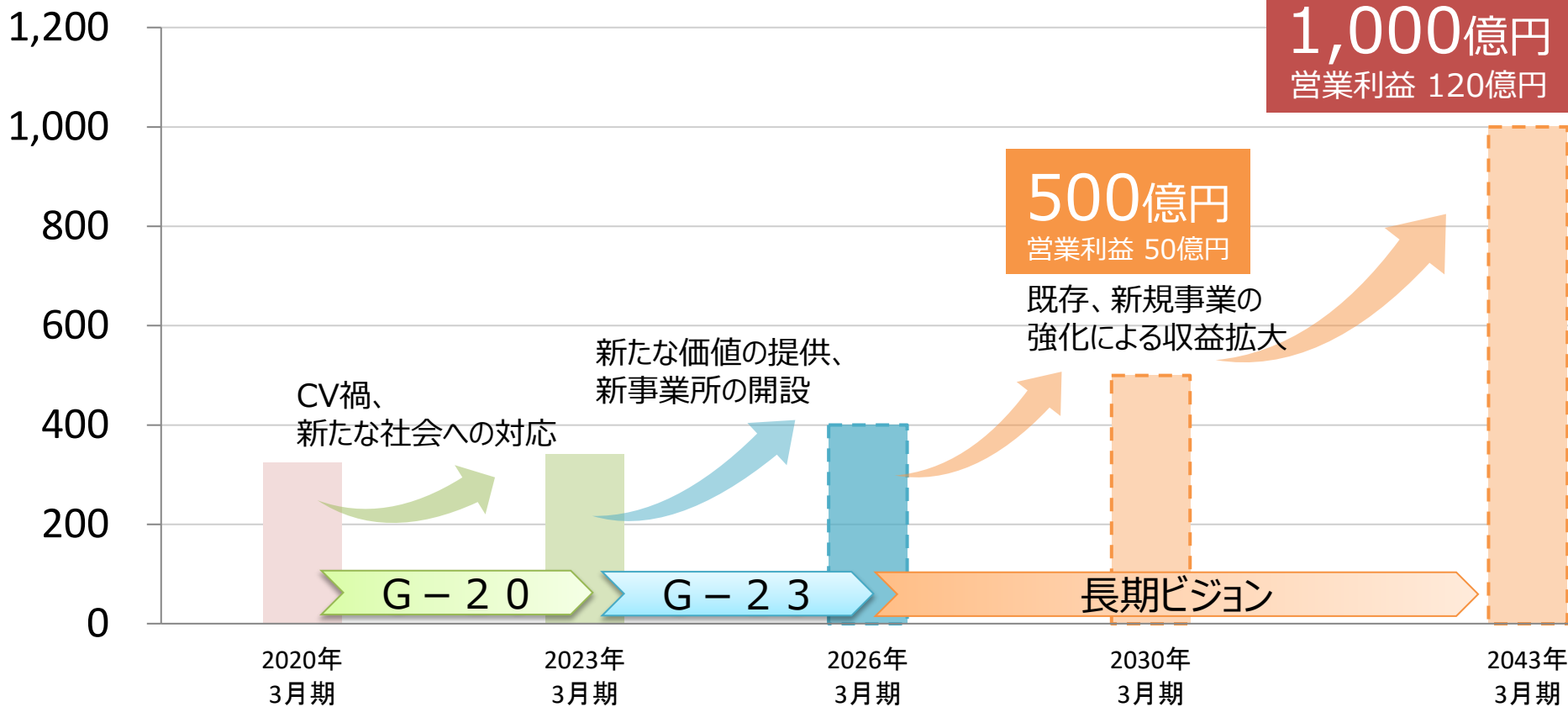


6-②. 成長戦略(連結業績目標)

2043年3月期

売上高 1,000億円 営業利益 120億円

(億円)



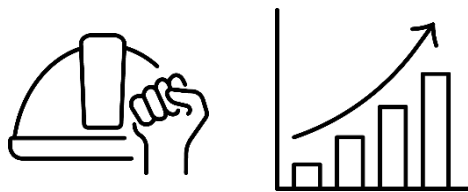
7. 中期経営計画「G-23」基本方針

重要課題（マテリアリティ）への対応

事業強化

新事業所の立ち上げ、
既存事業所の再構築

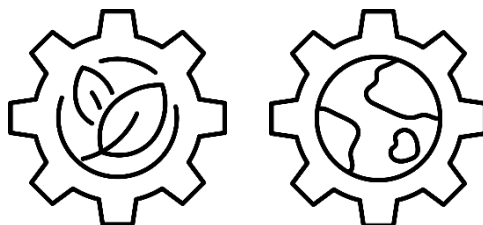
生産体制強化
収益基盤拡大



社会・環境課題へ貢献

新製品・サービス開発の
加速、新事業の探索

サステナブル社会への
貢献



人材育成・体制強化

ガバナンス強化と
ワークライフバランス充実

活力ある
社員集団の実現



E（環境）

- 持続可能な地球環境への貢献
- CO2排出量の削減

G（企業統治）

- 更なるガバナンスの強化
- ステークホルダーへの公平かつ公正な利益配分

S（社会）

- 活力ある社員集団の実現
- 地域社会とのつながり
- BCP運用と継続的な見直し

その他の課題

- 大型投資（新事業所開設、既存事業所再構築）
- 収益力の強化
- 新商品開発促進と新規事業の探索
- DX、デジタル技術の活用

8-①. 「G-23」取り組み指針

様々な社会課題に対して当社の価値を提供し、持続可能な社会の実現に貢献する。

社会課題	環境	人口	経済	労働	食	医療
	・カーボンニュートラル ・異常気象、災害	・少子高齢化 ・途上国の人口急増	・インフレ ・ローカライゼーション	・ダイバーシティ ・サステナビリティ	・食の安全 ・フードロス	・パンデミック ・介護、医療格差

提供価値	環境	安全・安心	便利・快適
-------------	-----------	--------------	--------------

「G-23」(新中期経営計画)

前中期経営計画「G-20」からの施策を実行に移す

- お客様のニーズに合わせた製品・サービス展開
- 熱ソリューション
 - 食品ロス削減、食の安全
 - 省エネソリューション
 - ニーズ探索力・対応力強化
 - 生駒事業所稼働
 - 関係会社再編

製品・製造の標準化推進によるQCD改善

さらなる社会課題解決へ長期的な取り組み加速

カーボンニュートラル関連市場向け
製品開発、採用拡大

鴻池事業所再構築 (生産体制強化)

新基幹システムの導入

サービスの革新

人材採用・育成・働き甲斐向上

長期ビジョン

「流体の熱と圧力の
制御技術を結集し、
エネルギー・水・食の
明日(あした)を、
お客様と共に支える
企業になる」

CSR-SDGsビジョン

「SDGsを取り入れた
企業経営により
自らが持つ総合力で
社会課題を解決し、
持続可能な社会の
実現に貢献する」

社訓

「誠心(まごころ)」

社是

「世界に定着する日阪」
「豊かな人間性の追求」

2043年3月期
(創業100周年)
業績目標

売上高
1,000億円

営業利益
120億円

8-②. 「G-23」当社が取り組む領域

環境

脱炭素

ガス供給 吸収塔 35℃ リンアミン アミン再生塔 60℃ 50℃ リンアミン 再生塔 110℃ 蒸気 CO₂

食品ロス低減

食品ロス削減

未利用熱の活用提案

環境配慮型製品/省エネ製品

安全・安心

殺菌 (食品向け)

培養

滅菌 (医薬向け)

高品質 (食品・医療・半導体)

乳化 濃縮 バルブ

便利・快適

サービス拡充

メンテナンス まるごとぱっく

遠隔サービス (DX)

カスタマイズ対応

ニーズを汲んだ商品開発

チーム力 対応力強化

省人化 自動化対応

チョコ弁

お客様のニーズに合わせた事業展開

機器単体売りからソリューション提供へ

熱ソリューション

FA対応強化

ワンストップ対応 (ラインアップ拡充)

標準品の競争力強化

標準機種刷新 機種種の統廃合

設計標準化 品質強化

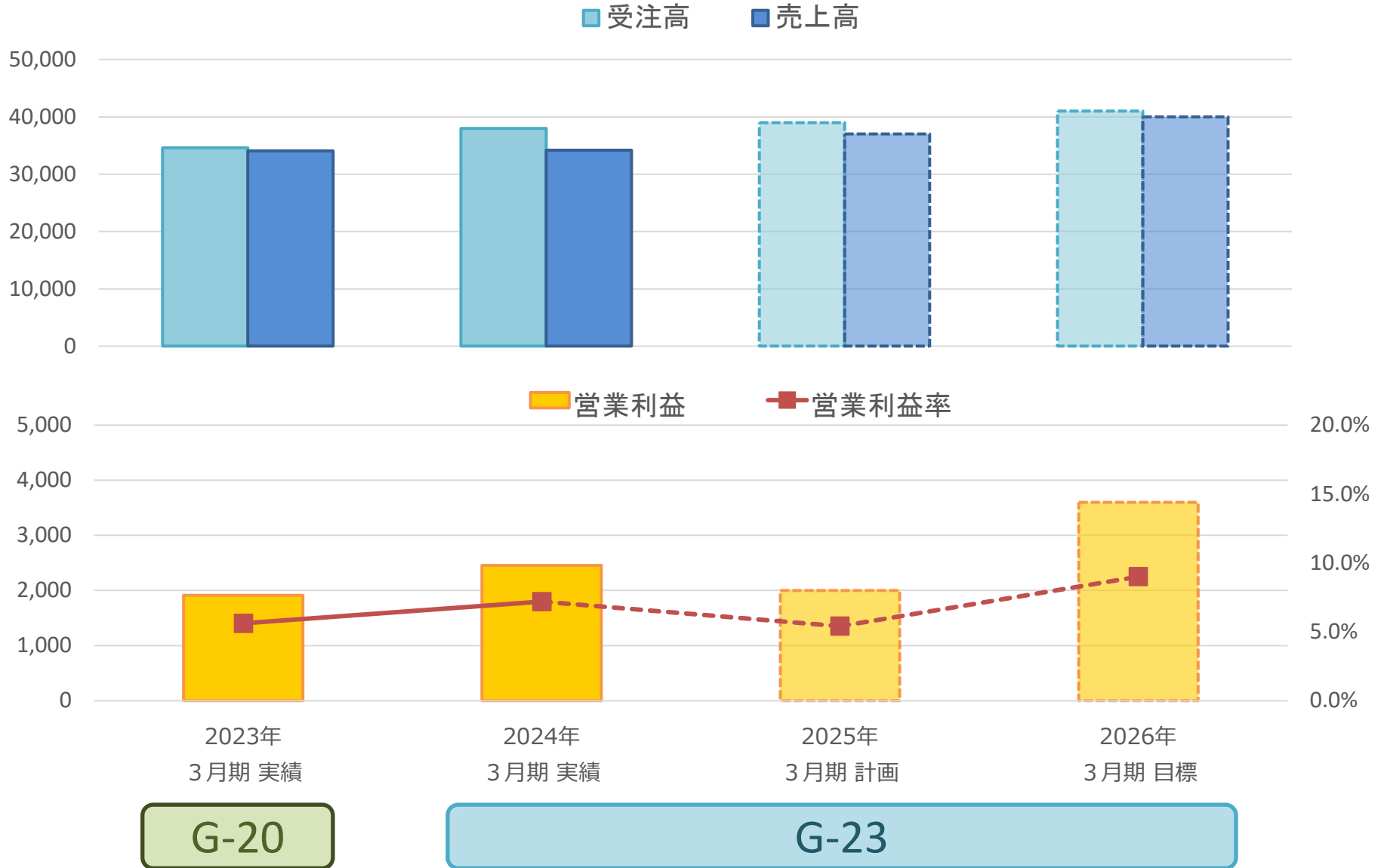
事業基盤の強化

- 生産体制強化
 - 生駒事業所開設
 - 鴻池事業所の再構築
- 販売体制強化
 - 人材育成
- 資本政策
 - サステナビリティ委員会
 - TCFDへの取り組み
- HNPS HISAKA NEW PRODUCTION SYSTEM

9-①. 「G-23」連結業績目標

	G-20 最終年度 2023年3月期 実績 A	G-23			増減率 B-A A
		2024年3月期 実績	2025年3月期 計画	2026年3月期 目標 B	
		(百万円)			
受注高	34,621	37,999	39,000	41,000	18.4%
売上高	34,074	34,180	37,000	40,000	17.4%
営業利益	1,912	2,457	2,000	3,600	88.3%
営業利益率	5.6%	7.2%	5.4%	9.0%	+3.4pt
経常利益	2,392	2,896	2,300	3,800	58.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,040	2,420	1,600	2,600	27.4%
ROE	3.7%	4.2%	2.7%	4.5%	+0.8pt

9-②. 「G-23」連結業績目標



10. 当社の存在意義

社会課題を解決できる

「省エネ」「省人化」を実現する

良質な「機械」や「サービス」を安定して供給できる

メーカーであること。

11-①. 4つの取り組み方針



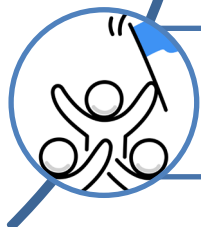
1) 付加価値を持った「新商品開発」「新市場開拓」「新規事業創出」



2) 「部品・メンテナンス事業」の売上比率向上



3) 生産性の向上



4) 人財の育成と確保

11-②. 4つの取り組み方針

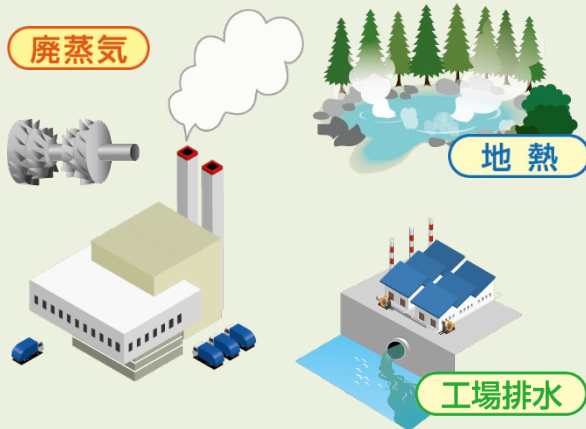


1) 付加価値を持った「新商品開発」「新市場開拓」「新規事業創出」

①新商品開発 省エネ・省人化に貢献する製品・サービスの開発を加速

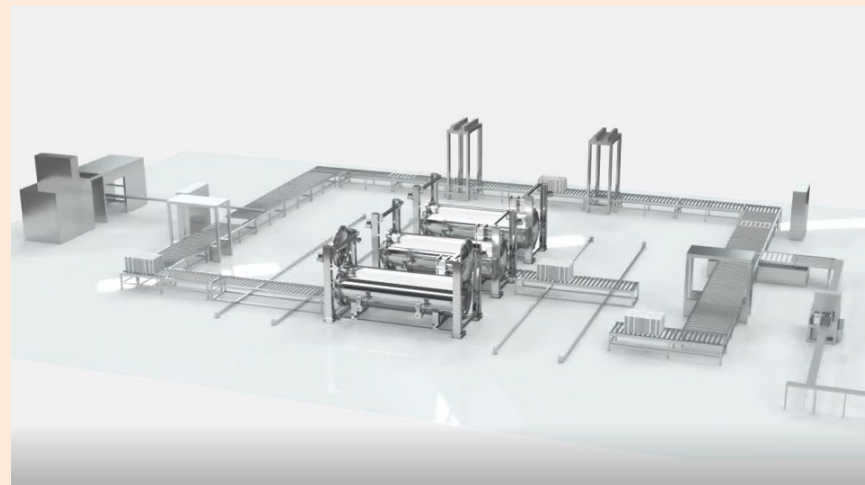
熱交換器事業

- 熱の再利用、有効活用に貢献する、より効率や性能を追求した製品開発



プロセスエンジニアリング事業

- 省エネ効果を高めた装置や省人化に貢献するFA、人材不足を補うメンテナンス



11-③. 4つの取り組み方針



1) 付加価値を持った「新商品開発」「新市場開拓」「新規事業創出」

②新市場開拓 海外事業の強化、多業種・多用途への進出

熱交換器事業

●中東でのメンテナンス事業の強化



プロセスエンジニアリング事業

●アジアへの展開加速



バルブ事業

●新市場向けラインアップ拡充



11-④. 4つの取り組み方針



1) 付加価値を持った「新商品開発」「新市場開拓」「新規事業創出」

③ 新事業創出

未来事業推進部

2018年4月～2024年3月



新規事業推進部

2024年4月～

- ・将来の柱となる事業開発を加速
- ・生駒事業所に試験室を備えた専用スペースを設置

11-⑤. 4つの取り組み方針



2) 「部品・メンテナンス事業」の売上比率向上

業界での高いシェアを活かしたメーカーならではのメンテナンス事業を展開

熱交換器事業

- 中東を含む海外でのメンテナンスサービス体制の強化
- 国内のサービスセンター強化

プロセスエンジニアリング事業

- 納入実績が豊富な関東、関西地区を中心にサービス体制を強化

バルブ事業

- 国内化学コンビナート周辺におけるメンテナンス拠点網の構築

11-⑥. 4つの取り組み方針



3) 生産性の向上

2024/1 プロセスエンジニアリング事業の新拠点「生駒事業所」開設



11-⑦. 4つの取り組み方針



3) 生産性の向上

生駒事業所 生産エリア

- フレキシブルエリア
- 準専用エリア
- 専用エリア



大型クランプシーマ
(長手溶接)



3mマニプレータ
(周溶接)

製缶 / 溶接
(長手 / 周 / 隅肉溶接)

製缶
レーザー / 巻き

機械職場
恒温室

荷受け

組立職場

大型タンク
製作

製缶 / 溶接
小物メイン

洗い場
(小物)

IN

OUT

レントゲン
バフ

洗い場
(大物)

組立職場

OUT

OUT



6tスピンターン台車
(大型製品・部品の搬送)

組立職場
(広々としたスペースで
変化に対応)



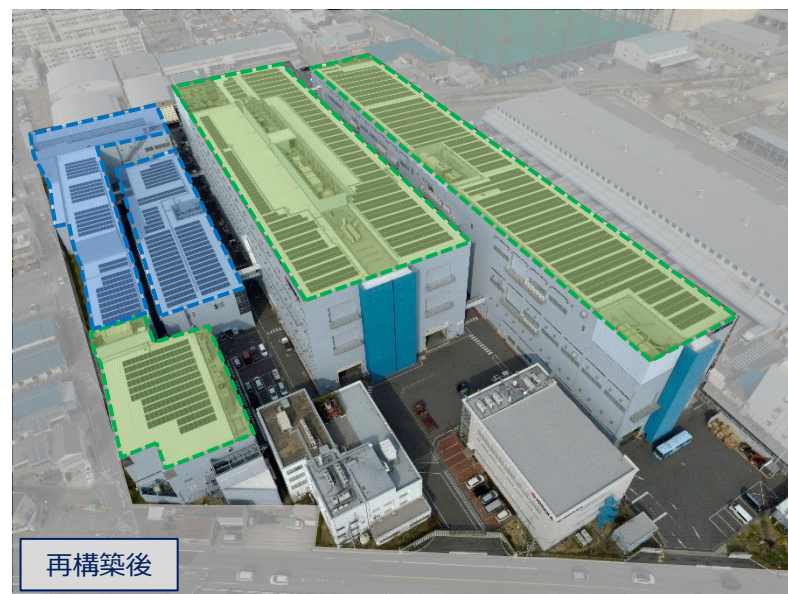
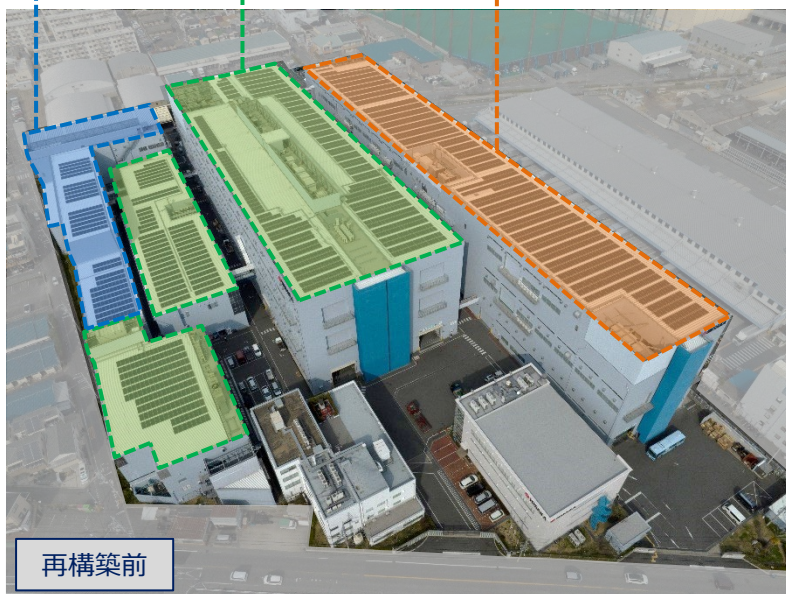
11-⑧. 4つの取り組み方針



3) 生産性の向上

● 鴻池事業所の再構築

■ バルブ事業
 ■ 熱交換器事業
 ■ プロセスエンジニアリング事業



- ・ 熱交換器事業、バルブ事業の拡大に向け、旧プロセスエンジニアリング棟のリニューアルに着手
- ・ レイアウトの見直し、最先端設備の導入を計画

● HNPS活動 (Hisaka New Production System)

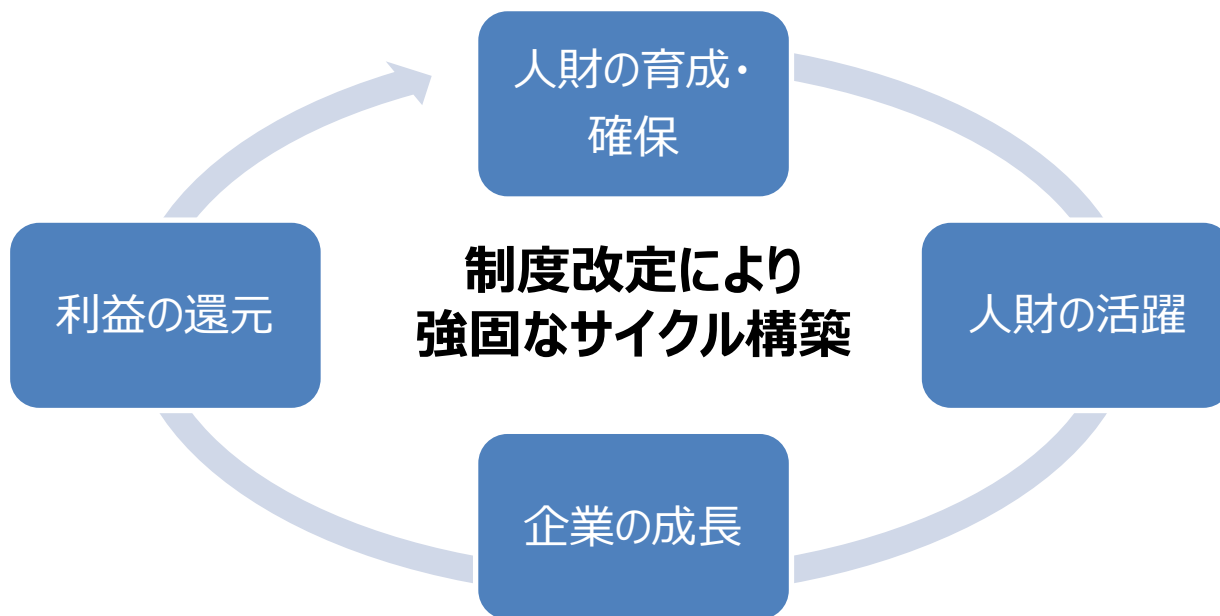
- ・ 当社独自の生産性向上活動を推進

11-⑨. 4つの取り組み方針



4) 人財の育成と確保

● 人財の育成と確保を目的に社員処遇制度の改定を実施

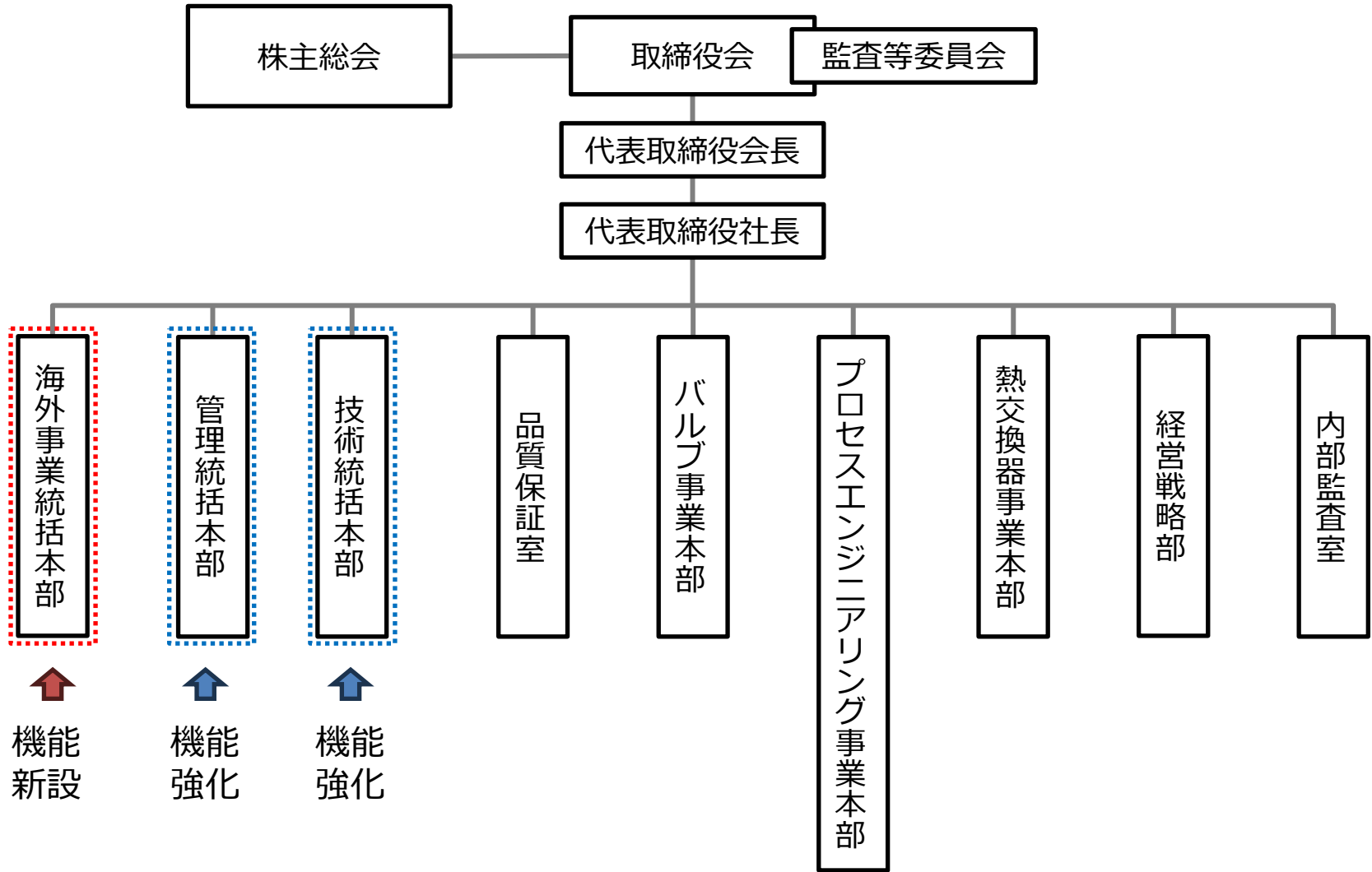


● 多様な働き方に応じた制度導入

テレワーク・時差出勤制度、育児休暇取得推進、健康経営優良法人認定など

11-⑩. 4つの取り組み方針

2024/4～ 組織図



11-⑪. 4つの取り組み方針

国内グループ会社合併

- ・ プロセスエンジニアリング事業に係る経営資源の集中と有効活用
- ・ 顧客サービスの向上、業務の効率化、収益性の安定化を促進



株式会社 日阪プロダクツ



サニタリーバルブ



プラントエンジニアリング



全自動連続殺菌冷却装置



サニタリー装置・機器の製造販売及び
プラントエンジニアリング事業



旭工業株式会社

食品製造機械の製造及び販売

12. 資本政策

- 株主への利益還元、強固な財務基盤の確保、戦略的投資をバランスよく考慮する
- 「R O E」を株主価値向上の重要指標とし、資本コストを上回る R O Eを目指す

株主への利益還元

- ◆ 連結業績を勘案しつつ **DOE 2.0%以上**、配当性向30%以上を目途に業績連動の配当を実施

⇒ 2024年3月期より DOEの基準を 1.5%以上→2.0%以上へ引き上げ。

- ◆ 弾力的、機動的な自己株式取得を実施

株主価値向上

効率的な資本政策で
資本コストを上回る
R O Eを目指す

強固な財務基盤の確保

- ◆ 財務体質の強化

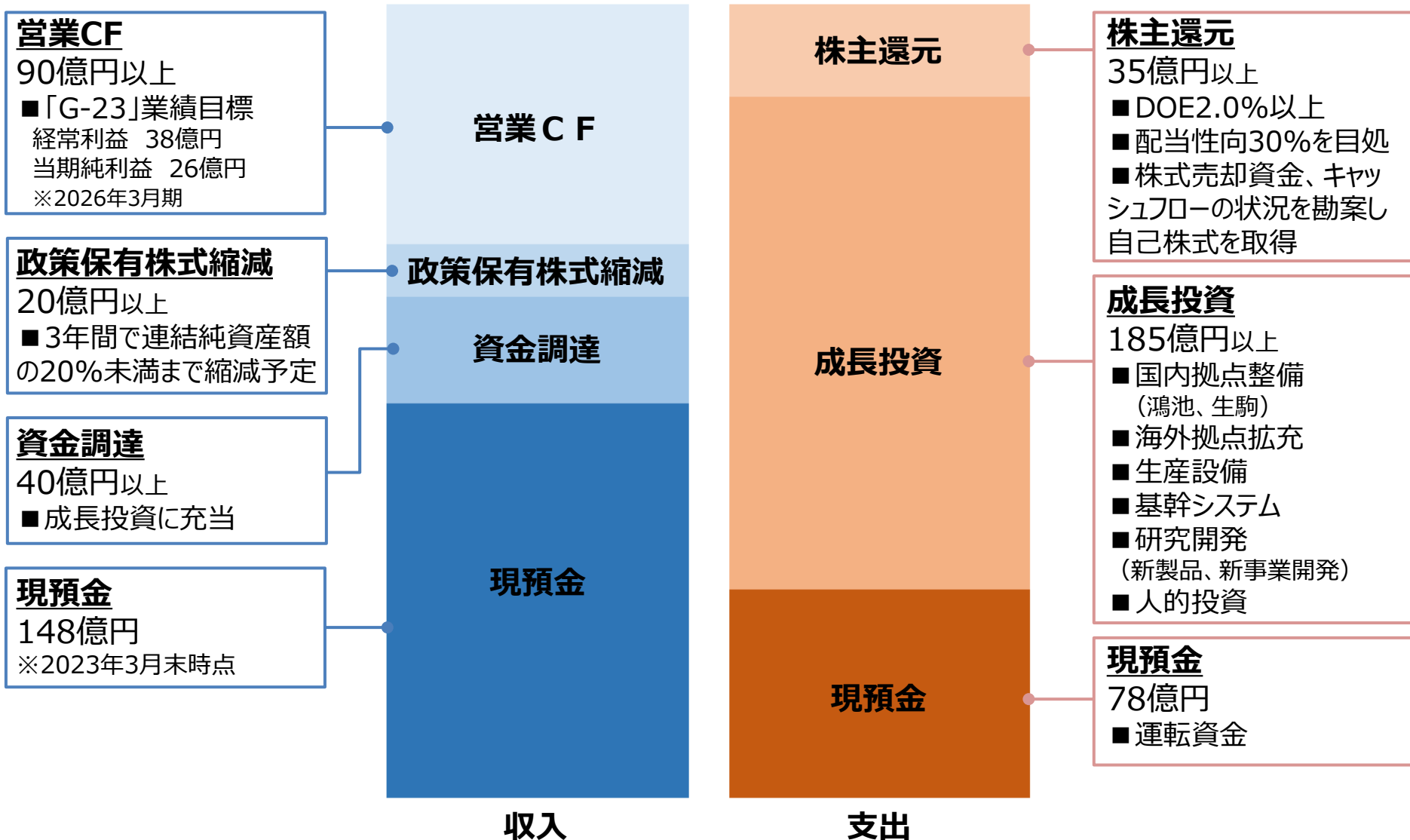
戦略的投資

- ◆ 経営基盤の強化
新事業所開設
新事業開発
⇒「G-23」において、**生駒事業所開設、
鴻池事業所再構築を実施。**

※ DOE:連結純資産配当率
配当金につきましては、
P43「配当の計画」もご覧ください。

13-①. 財務戦略(キャッシュアロケーション)

「G-23」(2024年3月期～2026年3月期) 累計



13-②. 財務戦略(キャッシュアロケーション)

「G-23」(2024年3月期～2026年3月期) 初年度の進捗状況

	項目	3年計画	初年度実績	備考
収入	営業CF	90億円以上	▲4.6億円	受注残増加に伴う棚卸資産増加による減少、生駒事業所建築費用の支払いに伴う未払消費税の減少、投資有価証券売却益発生による減少
	政策保有株式縮減	20億円以上	9.2億円	6銘柄売却
	資金調達	40億円以上	50.0億円	社債及び長期借入による調達
支出	株主還元	35億円以上	11.9億円	2024年3月期 配当金 42円/株
	成長投資	185億円以上	64.5億円	生駒事業所建築工事、熱交換器事業のソフトウェア
	現預金	78億円	138.3億円	2023年3月末より10億円減少

2025年3月期 決算の見通し

14. 通期計画の概要(上期・下期・通期)

(百万円)

	2024年3月期 実績			2025年3月期 計画			増減額			増減率		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注高	20,107	17,892	37,999	20,000	19,000	39,000	▲ 107	1,107	1,000	▲ 0.5%	6.2%	2.6%
売上高	16,520	17,660	34,180	18,000	19,000	37,000	1,479	1,339	2,819	9.0%	7.6%	8.2%
営業利益	851	1,605	2,457	600	1,400	2,000	▲ 251	▲ 205	▲ 457	▲ 29.5%	▲ 12.8%	▲ 18.6%
営業利益率	5.2%	9.1%	7.2%	3.3%	7.4%	5.4%	▲ 1.8 pt	▲ 1.7 pt	▲ 1.8 pt	-	-	-
経常利益	1,146	1,750	2,896	800	1,500	2,300	▲ 346	▲ 250	▲ 596	▲ 30.2%	▲ 14.3%	▲ 20.6%
経常利益率	6.9%	9.9%	8.5%	4.4%	7.9%	6.2%	▲ 2.5 pt	▲ 2.0 pt	▲ 2.3 pt	-	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	814	1,606	2,420	600	1,000	1,600	▲ 214	▲ 606	▲ 820	▲ 26.4%	▲ 37.7%	▲ 33.9%
純利益率	4.9%	9.1%	7.1%	3.3%	5.3%	4.3%	▲ 1.6 pt	▲ 3.8 pt	▲ 2.8 pt	-	-	-

15-①. セグメント別の見通し(通期)

(百万円)

	2024年3月期 通期		2025年3月期 通期		増減	
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	増減率
熱交換器事業	16,900	44.5%	15,900	40.8%	▲ 1,000	▲ 5.9%
プロセスエンジニアリング事業	16,058	42.3%	18,000	46.1%	1,941	12.1%
バルブ事業	4,953	13.0%	5,000	12.8%	46	0.9%
その他	87	0.2%	100	0.3%	12	14.7%
受注高	37,999	100%	39,000	100%	1,000	2.6%
熱交換器事業	15,161	44.4%	16,500	44.6%	1,338	8.8%
プロセスエンジニアリング事業	13,977	40.9%	15,800	42.7%	1,822	13.0%
バルブ事業	4,954	14.5%	4,600	12.4%	▲ 354	▲ 7.2%
その他	87	0.2%	100	0.3%	12	14.7%
売上高	34,180	100%	37,000	100%	2,819	8.2%
熱交換器事業	1,831	70.9%	1,890	82.2%	58	3.2%
プロセスエンジニアリング事業	263	10.2%	60	2.6%	▲ 203	▲ 77.2%
バルブ事業	423	16.4%	290	12.6%	▲ 133	▲ 31.5%
その他	63	2.5%	60	2.6%	▲ 3	▲ 5.1%
小計	2,580	100%	2,300	100%	▲ 280	▲ 10.9%
調整額	▲ 123	—	▲ 300	—	▲ 176	—
営業利益	2,457	—	2,000	—	▲ 457	▲ 18.6%

15-②. セグメント別の見通し(上期・下期)

(百万円)

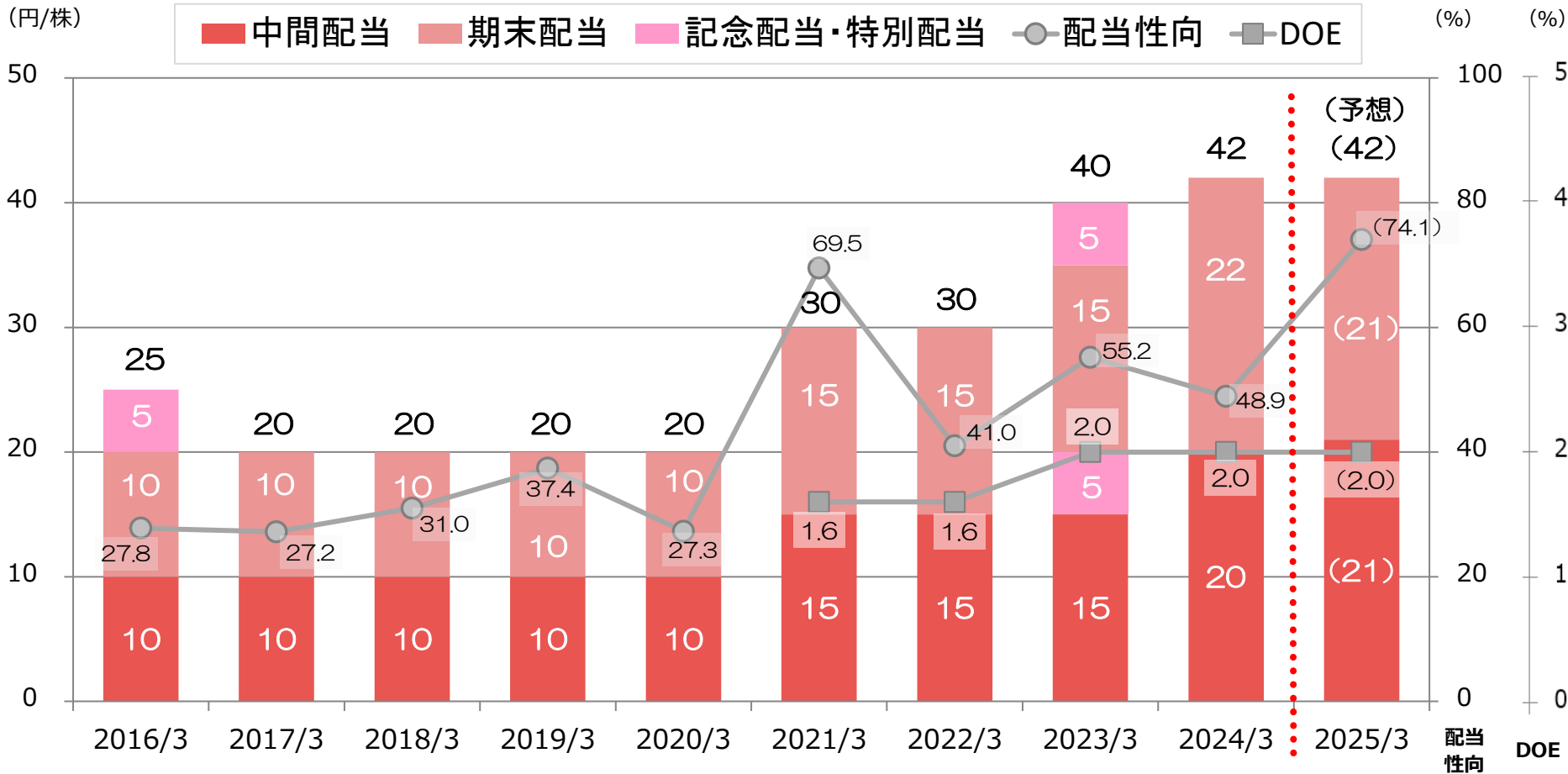
	2024年3月期 実績		2025年3月期 計画		増減額	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
熱交換器事業	8,841	8,059	7,800	8,100	▲ 1,041	40
プロセスエンジニアリング事業	8,708	7,349	9,700	8,300	991	950
バルブ事業	2,511	2,441	2,450	2,550	▲ 61	108
その他	45	41	50	50	4	8
受注高	20,107	17,892	20,000	19,000	▲ 107	1,107
熱交換器事業	7,186	7,974	8,000	8,500	813	525
プロセスエンジニアリング事業	6,805	7,171	7,700	8,100	894	928
バルブ事業	2,483	2,471	2,250	2,350	▲ 233	▲ 121
その他	45	41	50	50	4	8
売上高	16,520	17,660	18,000	19,000	1,479	1,339
熱交換器事業	543	1,287	720	1,170	176	▲ 117
プロセスエンジニアリング事業	76	186	▲ 100	160	▲ 176	▲ 26
バルブ事業	245	178	100	190	▲ 145	11
その他	33	29	30	30	▲ 3	0
小計	898	1,681	750	1,550	▲ 148	▲ 131
調整額	▲ 47	▲ 75	▲ 150	▲ 150	▲ 102	▲ 74
営業利益	851	1,605	600	1,400	▲ 251	▲ 205

16. 設備投資・減価償却の状況

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
	実績	実績	実績	上期計画	計画
設備投資	1,757	4,956	6,118	2,500	5,000
内容	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の造成工事 など	各事業の機械設備や金型の更新、生駒事業所の建築工事 など	生駒事業所の建築工事、熱交換器事業のソフトウェア、各事業の機械設備導入・更新 など	鴻池事業所の改修工事、生駒事業所の別棟建築工事、熱交換器事業のソフトウェア、各事業の機械設備や金型の導入・更新 など	
減価償却	1,130	1,045	1,259	800	1,650

17. 配当の計画



【利益配分の基本方針】

全てのステークホルダーの皆様に対し「公平」且つ「公正」を念頭に置きつつ、財務体質と経営基盤の強化を図りながら、株主の皆様に対する適正な利益の還元を基本方針としています。具体的には、内部留保とのバランスを考慮しつつ、連結純資産及び連結業績の状況を勘案し、**連結純資産配当率(DOE)2.0%以上**を目途に継続的・安定的な配当に努めます。

<お問い合わせ先>

(株)日阪製作所 経営企画本部 経営戦略部

WEB : <https://www.hisaka.co.jp>

e-mail : ir@hisaka.co.jp

TEL : 06-6363-0015

〒530-0057

大阪市北区曾根崎2-12-7 (清和梅田ビル20階)



株式会社 ^ひ ^さ ^か 日阪製作所

～ロゴマークの由来～

日本の「日」とステンレス (STAINLESS) の「S」を組み合わせてデザインした。また、丸い形は成熟を表しており、豊かな人間性をもって社員と製品がともに成熟していくようにという願いを込めている。

～社名の由来～

日本の中でも商いの町の代名詞である大阪のような活気あふれる会社になりたいとの願いを込めて、日本の「日」と大阪の「阪」をとり、「日阪製作所」と命名した。

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想に達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合を確認し、利用者の判断によって行っていただきますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

【参考資料】

事業別の成長戦略

【参考資料】事業別の成長戦略(熱交換器事業)

＜カーボンニュートラルへの貢献＞

熱交換器による熱の再利用



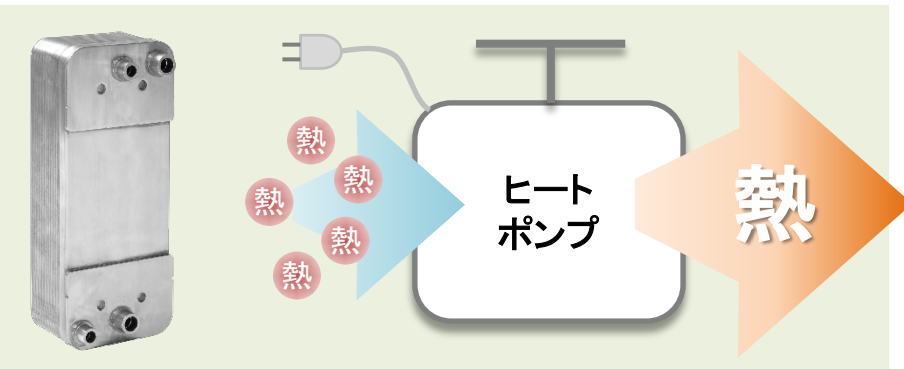
CO₂回収装置向け



水素製造装置向け



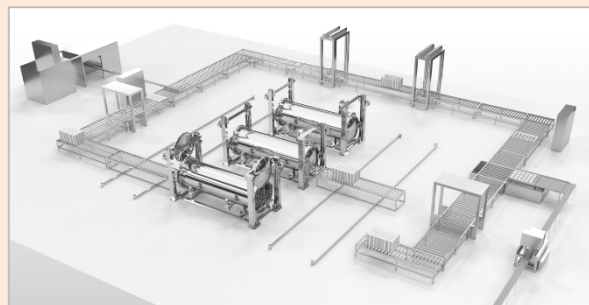
ヒートポンプ向け



<食品ロス削減、医薬品供給、環境改善への貢献>

食品

個食化進展による加工食品市場拡大
省人化ニーズに応える自動化対応



医薬

医薬品安定供給に向け設備投資加速
抗体医薬品やワクチンなど培養装置



グループ会社再編 (2023年10月)
国内2社を統合「(株)日阪プロダクツ」



染色

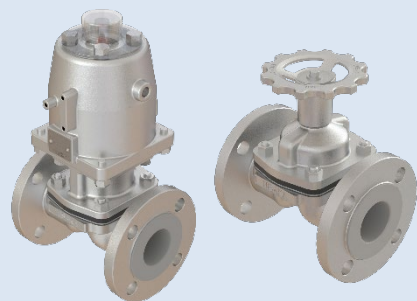
環境負荷低減製品の需要拡大
節水型新製品の開発、販売強化



【参考資料】事業別の成長戦略(バルブ事業)

＜新製品の開発、販売拡大＞

ダイヤフラムバルブ（新製品）

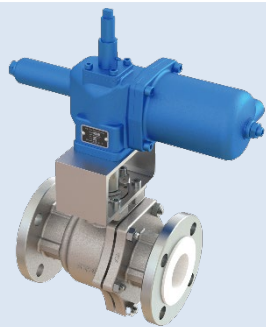


オール
ステンレス



PFA
ライニング

ライニングボールバルブ（新製品）

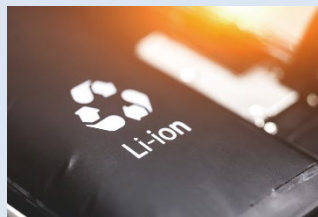
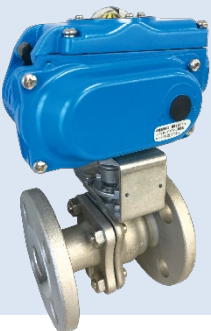


ステンレス
ボディ

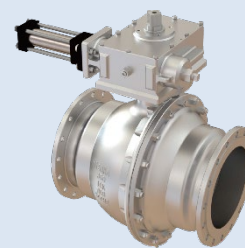


PFA
樹脂

重点市場
（二次電池、産業ガス、環境分野）



アライアンス、新たな用途限定弁による新市場開拓



【参考資料】事業別の成長戦略(海外展開)

熱交換器事業

- 中東向けメンテナンス事業の強化
- グローバルモノづくり体制の構築

プロセスエンジニアリング事業

- アジア向け食品機器、染色仕上機器の強化
- 中国における漢方生薬市場拡大への対応

バルブ事業

- 東南アジア向け営業の強化